

エコアクション21 環境活動レポート

(試行運用期間) 2011年9月～2011年11月



限りある資源を未来に 地球環境に貢献

株式会社コーセイジャパン

E-MAIL: kosei-japan@mvc.biglobe.ne.jp

URL: <http://www2e.biglobe.ne.jp/~neolux>

2012年1月25日 作成

環境方針

基本方針

株式会社コーセイジャパンは、電気工事業ならびに省電力商品の販売を通じて環境負荷の軽減に取り組み、低炭素社会の実現に貢献できるよう努力してまいります。

行動指針

- (1) 照明分野における省エネ知識を生かし、顧客への照明省エネ診断を積極的に行う。
- (2) 省電力商品（LED照明、高効率照明用安定器）の販売促進により環境負荷軽減に取り組む。
- (3) 電気工事に伴う廃材を抑制し、資源のリサイクルに努力する。
- (4) 社内におけるゴミの分別の徹底、エネルギー使用量（電気・ガス・ガソリン等）の抑制と節水を行う。
- (5) 事務用品・工事材料等のグリーン購入を積極的に行う。
- (6) 環境関連法規等を遵守します。

2011年9月1日

株式会社コーセイジャパン

代表取締役 安陵 範浩

1. 事業の概要

事業所名 株式会社コーセイジャパン

代表者名 安陵 範浩

所在地 本社 福岡県京都郡苅田町磯浜町1丁目16-9

環境管理責任者 安陵 範浩

連絡担当者名 安陵 範浩

連絡先 TEL : 093-436-6136

FAX : 093-436-6141

E-MAIL yasuok-n@mx.mesh.ne.jp

事業の内容 LED照明並びに高効率電子安定器の設計、製造、販売、施工

事業の規模

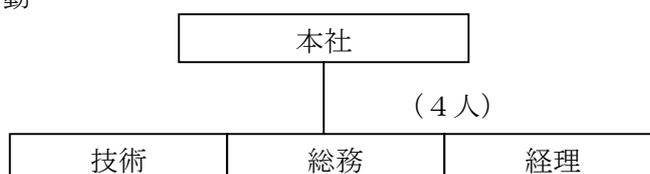
	単位	2008年度	2009年度	2010年度
工事件数	件	10	11	7
環境負荷軽減商品の販売台数	台	9,062	9,658	16,418
売上高	百万円	57	58	71
従業員数	人	4	4	4
事業所面積	m ²	80	80	80

当社の事業年度 11月1日～翌年10月31日

(今回の活動レポートの対象期間は、2011年9月1日～11月30日)

2. 組織図及び認証・登録範囲

全組織・全活動



3. 当年度及び中期環境目標

環境目標		単位	基準	目 標				
			33 期 2009/11～ 2010/10	(試行運用) 2011/9～ 2011/11	35 期 2011/11～ 2012/10	36 期 2012/11～ 2013/10	37 期 2013/11～ 2014/10	
基準データ	従業員数	人	4	4	4	5	5	
1	二酸化炭素排出量の削減	Kg-co2/ 人	3558 (296.5/月)	828.3 (2%) (276.1/月)	3382 (5%) (281.8/月)	3312 (7%) (276.0/月)	3200 (10%) (266.7/月)	
2	廃棄物総排出量	Kg/ 人	削減目標策定基準の実績を把握する。 (2011/7～2012/10の期間)			35 期の実績より 3%削減	35 期の実績より 5%削減	
3	総排水量 (給水量)	m ³ /人	19.75 (1.65/月)	5.39 (1.80/月)	18.50 (6%) (1.54/月)	18.0 (9%) (1.50/月)	17.5 (11%) (1.46/月)	
4	グリーン購入の 推進	事務用品	現状を調査し、購入の検討をする。			使用品目数を 1 個追加	使用品目数を 2 個追加	
5	環境負荷軽減商 品の販売	高効率電子 安定器	台	16418	3000	12000	12000	12000
		LED照明	台	90	500	4000	6000	8000

※電気の二酸化炭素係数は九電の 21 年度 0.369 を用いた。

※試行運用期間は前年同月 (2010/9～2010/11) の実績値を基準とした (季節要因を考慮)

4. 当年度の環境活動計画

4-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ・待機電力削減 (空気清浄機、PC、プリンター、測定器類、電子レンジ)
- ・給湯器等の効率使用 (ポットの活用)

(2) ガソリンの使用量削減

- ・エコドライブの励行
- ・アイドリングストップの励行
- ・公共交通機関の利用促進

4-2. 廃棄物の排出量削減

※ 廃棄物総排出量については削減目標策定基準の実績を把握する。

(2011/7～2012/10の期間)

- ・ペーパーレス化の推進
- ・リサイクル率の向上 (分別の強化)

4-3. グリーン購入の促進

※現状を調査し、購入の検討

- ・コピー用紙、トナーなど消耗品はリサイクル品などを優先的に購入

4-4. 環境負荷軽減商品の販売促進

- ・省エネ診断の実施
- ・展示会の積極的な出展や顧客訪問回数を増やす

5. 目標の実績

・平成23年9月～11月の試行運用の期間の目標における実績は以下の通りであった。

環境目標		単位	目標	実績	目標の達成	
基準データ	従業員数	人	4	4		
1	二酸化炭素排出量の削減	Kg-co2/総量	3313.2	3503.6	×	
		Kg-co2/人	828.3	875.9		
	電気の使用量削減	Kwh/総量	1856.4	1687.0	○	
		Kwh/人	464.1	421.8		
	ガソリンの使用量削減	ℓ/総量	1119.2	1231.0	×	
		ℓ/人	279.8	307.8		
	ガスの使用量削減	Kg/総量	9.96	7.7	○	
		Kg/人	2.49	1.9		
2	廃棄物の排出量削減	Kg/人		—	—	
3	総排水量（給水量）	m ³ /総量	21.56	18.00	○	
		m ³ /人	5.39	4.5		
4	グリーン購入の推進	事務用品		—	—	
5	環境負荷軽減商品の販売	高効率電子安定器	台	3000	4118	○
		LED照明	台	500	1207	○

※電気の二酸化炭素係数は九電の21年度0.369を用いた。

6. 活動計画の取組結果

6-1. 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電気使用量の削減

- ・削減目標を2%としたがこれを達成できた。

この要因はエアコンの温度管理と待機電力の削減が寄与したと考える。

(2) ガソリンの使用量削減

- ・削減目標を2%としたが削減どころか、前年同月と比較して増加してしまった。
この要因は試行運用期間の環境負荷製品の販売促進に伴う納品および営業回数の増加である。

(3) ガスの使用量削減

- ・削減目標を2%としたがこれを達成できた。
この要因は社員用コーヒーの給湯器使用回数の低減が寄与したと考える。

6-2. 廃棄物の排出量削減

(1) ペーパーレス化の実施

- ・コピー用紙の有効利用（裏紙使用や両面コピー）

6-3. 排出水量の削減

- ・削減目標を2%としたがこれを達成できた。
この要因は社員の水の無駄遣いが減ったことが寄与したと考える。

6-4. グリーン化商品の購入促進

(1) リサイクル率の向上

- ・消耗品（用紙・トナー）などのリサイクル品購入を積極的に実施。

6-5. 環境負荷軽減商品の販売

(1) 省エネ診断の実施

- ・顧客への照明設備の調査を実施、高効率照明（HfインバータやLED照明）への交換による省エネ効果を診断する業務を積極的に実施。

(2) 展示会の出展

- ・試行期間を含む年間2～3回ほど展示会への自社商品（省エネ照明）の出品。

7. 次年度の活動計画の内容

1. 二酸化炭素の排出量削減

試行運用期間ではガソリンの使用量が目標値を下回る結果に終わった。

営業活動増加による結果もあるので、引き続きエコドライブを励行しつつ、無駄な運転がないか見直し取り組む。

2. 産業廃棄物の削減

これまでは記録がなかったので試行運用期間の記録を元に次年度以降は削減目標を定め廃棄物の排出量削減に取り組む。

8. 環境関連法規等への違反、訴訟等の有無

環境関連法の遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。

尚、関係当局よりの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去15年間ありません。

9. 代表者による全体評価の見直しの結果

[評価]

1. 二酸化炭素排出量については、電気使用量およびガス使用量については社員の努力により目標を達成したが、ガソリンの使用量は目標を達成することが出来なかった。これは試行運用期間の3ヶ月間が前年同月に比べ、営業活動が増加して車両を使つての営業活動、納品等の回数が増えたためである。

引き続きエコドライブ励行をしつつ、近い将来に低燃費車（ハイブリッドカー）の購入を検討したい。

2. 廃棄物の排出量削減はこれまで記録がなかったので、分別作業と記録作業を実施しました。

これまで古紙やダンボールなどはリサイクルに出すようにして参りましたが、廃棄物を細かく分別することで、建設副資材は分解できる範囲で実施し、電線類や金属類はリサイクル、その他は不燃ゴミとするように取り組みました。

3. 環境負荷軽減商品の販売は、新製品（LED照明）の販売が軌道に乗りつつあり、販売目標を大きく達成しております。

〔総評〕

今回、全社的にエコアクション21の取り組みを実施して、短期間ですが、電気・ガス・水道の削減が出来ました。しかし、ガソリンについては営業活動の増加に伴い反比例して増加してしまいました。

削減できた電気・ガス・水道については、ほとんどが事業所内での消費であったので、エコアクション21への取組による意識改革によって達成できたと思います。

ガソリンについては環境負荷軽減商品の販売増加と反比例しがちなため、今後は低燃費車の導入を検討し、改善努力を進めたいと思います。

廃棄物やリサイクル・グリーン購入については実態調査の結果を踏まえ、分別の徹底とリサイクル化、グリーン購入品の優先購入を進めたいと思います。

3ヶ月の試行運用でしたが、実態把握と意識改革により、無駄の改善、販売増加につながり会社経営にも大きなメリットが生まれました。

今後もエコアクション21の精神を保持し、事業活動に励んで参ります。

平成24年1月25日

2012年1月25日

株式会社コーセイジャパン

代表取締役 安陵 範浩

10. その他 (エコアクション活動写真)

(1) 資源ごみの分別



(2) 展示会の出展 (LED照明)



(中小企業テクノフェア IN 九州 2011)

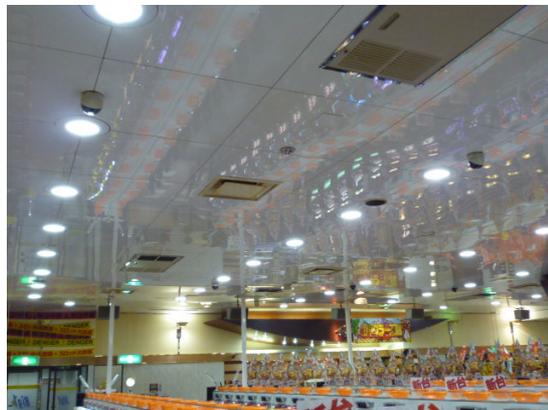


(北九州ビジネス交流会 2011)

(3) LED照明の設置



(ハロゲン 65W → LED 電球 5W)



(水銀灯 250W → LED 照明 50W)